



函館 新・ランドマーク三景

第222号



◇ 卷頭言 ◇

夕陽の伝統や強みを引き継ぎながら

夕陽会会长 藤川 隆

(昭和48年卒)

ル函館校は、平成二十六年四月に「国際地域学科」として新しい歩みを始め、来年の三月には、地域の活性化を担う人材や国際的に活躍できる人材、さらには、地域の教育や社会福祉に貢献できる人材に育った新学科の一期生が卒業します。大正三年の母校開学時の教育理念の一つである『人民藩殖』(旺盛な開拓精神をもつて、国家社会のために貢献し得る人材の育成)が、連綿と引き継がれていると想えております。

さらに、本年四月には教職大学院も開設され、道南における教育研究の拠点としての機能の拡充が図られたことも、大変心強いです。

ところで、来春の卒業生の進路希望は、大まかに民間企業、公務員、教員で、それぞれ三十パーセントずつであるとお聞きしました。小学校の教員免許取得が卒業要件となる志願者は、昨年度の一・五倍ほどになっているそうです。とは言え、やはり卒業生の六割は民間企業で、あるいは公務員として活躍することになり、夕陽会としましては、その組

織化が急務であります。そこで、本年度の総会において承認いただきましたように、新たに「企業・公務員支部」を立ち上げることにいたしました。

また、過日開催されました大懇親会に、夕陽会の未来を担う母校の二・四年生、十一名に参加してもらいました。学生たちは、四百名ほどの参加者に圧倒されながらも、ステージ上で実に堂々と爽やかに自己紹介をしてくれました。このような機会を通して、夕陽会の楽しさや大きさ、深さを実感し、それを多くの仲間に伝えてくれることと期待しています。

来年の創立百周年記念行事・事業を成功させることができ、現在の夕陽会の最大の目標であります。しかし、それは決してゴールではありません。夕陽会がとこしえであるためには、百周年を契機に、教職会員と企業・公務員会員を両輪とした新しい組織づくりを進める必要があります。本会の伝統や強みをしっかりと引き継ぎながら、進取果敢に会長としての任を果たして参ります。皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

就任挨拶



就任にあたつて

副会長 毛利繁和
(昭和55年卒 函館市立本通中学校長)

この度、函館市中学校長会を代表し、夕陽会副会長の大役を仰せつかりました。会長はじめ役員の皆様と夕陽会の充実・発展のため微力ながら務める所存です。

これまでも夕陽の諸先輩から多くのご指導をいただき、同窓の絆を感じながら職を務めてまいりました。学校経営を担う一年目、夕陽の先輩がくださつた「変えるべきことを変える」という言葉が今も私の支えです。

時代の変化の中、総会・大懇親会での藤川会長の言葉「とこしえに夕陽の未来を考え、来年、百周年をステップに母校をいつそう元気に」を胸に留め、会員の叡智が集まるよう努めたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

就任にあたつて



副会長 山田幸俊
(昭和56年卒 函館市立神山小学校長)

この度、函館市小学校長会長就任に伴い、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。藤川会長を始め、役員の皆様のご指導を仰ぎながら、夕陽会の充実発展のために努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

窓会の話になるたび、夕陽の仲間がひとりもおらず寂しく感じたのを覚えてています。しかし、その後関東にも支部ができたと聞き大変嬉しく心強く思いました。その後函館に戻り、十校で勤務しましたが、全ての学校で夕陽の先輩方に大変お世話をなりました。これまでの様々なご指導に感謝し、微力ながら来年の夕陽会創立百周年記念事業のために力を尽くす所存です。

副会長就任にあたつて



副会長 小助川浩
(昭和59年卒 厚沢部町立厚沢部小学校長)

この度、檜山校長会長就任に伴い、夕陽会副会長という大役を仰せつけられました。役員の皆様のご指導を賜りながら夕陽会の充実・発展のために精一杯努めて参りますので、どうぞよろしくお願いします。

私は、昭和五十九年三月に母校を卒業し、三年間の民間勤めの後、昭和六十三年に函館市立蛾眉野小学校に採用になりました。二年間とて函館を離れました。勤務校の同僚とともに夕陽会の勤務でしたが、初めて函館を離れました。

就任にあたつて



副会長 竹嶋充
(昭和56年卒 七飯町立藤城小学校長)

このたび、渡島小学校長を代表いたしまして、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。会長の意を体し、役員の皆様のご指導を賜りながら、夕陽会の充実・発展のために精一杯努めて参る所存です。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

私は、昭和五十六年三月に母校を卒業し、網走(現オホーツク)管内斜里町立斜里小学校に採用されて以

來三十七年間、行政職を含め九市町の十二ヵ所での勤務を経験してきました。現在の自分があるのは、行く先々での夕陽会の諸先輩からのご指導、温かいご支援のお陰と心から感謝申し上げます。来年、現職最後の年に記念すべき百周年を迎えることになります。これまでお世話をなった方々への恩返しができるよう頑張ります。



夕陽の絆

副会長 渡邊祐司
(昭和58年卒 北海道江差高等学校長)



会務報告

幹事長 永井貴之
(昭和63年卒)

この度、前夕陽会高等学校部会長（支部長）、関良一先生のご勇退に伴い、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。

私は函館で生まれ育ち、昭和五十八年三月に母校を卒業後、夕張北高校、札幌月寒高校で勤務し、道教委指導主事、美唄（美唄尚栄）高校教頭、苦小牧高専教授、羅臼高校長を経てこの春に江差高校に赴任しました。これまで、行く先々で夕陽会の

皆様に声をかけていただき、同窓の絆が私にとつて大きな励みになりました。大学を卒業して三十四年間全

道を飛び回り、久しづぶりに道南に戻つてみると、多くの夕陽会の皆様にお会いすることができ、故郷を感じております。

これからは皆様のご指導を賜りながら、夕陽会の充実・発展のために力をつくして参りたいと思います。

原点に戻り



副幹事長 太田千佳子
(平成4年卒 北海道教育大学附属特別支援学校副校長)

この度、附属特別支援学校の副校長、同時に夕陽会の副幹事長という役を仰せつかりました。藤川会長が取り組む“未来の夕陽会”に向けて微力ですが、精一杯やる所存です。

二十年前に附属養護学校に勤務した時、私一人のために惜しみなく時間を費やしてくださいました。そんな環境で仕事をするにつれ、少しず

地域のため、北海道のため、困っている先生や保護者のために、という思いが強まつたのを覚えています。その後、様々な現場で働き、十年ぶりに函館に戻つてしましました。函館は北海道の中でも人情味あふれる地域。現在の仕事の原点である場所に戻り、各地で奮闘している同窓の方々のため、函館から、元気を発信できればと思っています。

4 / 22	釧路支部総会に藤川会長が出席する。 (釧路)
4 / 23	札幌市支部総会に藤川会長が出席する。 (岩見沢)
4 / 23	指導主事等会総会に藤川会長、永井幹事長が出席する。 (札幌)
4 / 29	石狩支部総会に藤川会長が出席する。 (札幌)
5 / 11	函館市支部幹事会・新会員歓迎会に藤川会長、永井幹事長、白川・太田副幹事長が出席する。 (函館)
5 / 13	渡島支部総会に藤川会長が出席する。 (函館)
5 / 13	檜山支部総会に島津副会長が出席する。 (江差)
5 / 13	帶広十勝支部総会に白川副幹事長が出席する。 (帶広)
5 / 13	小樽市支部総会に太田副幹事長が出席する。 (小樽)
5 / 13	上川支部総会に永井幹事長が出席する。 (旭川)
5 / 17	八雲支会総会に藤川会長が出席する。 (八雲)
5 / 21	後志支部総会に藤川会長が出席する。 (俱知安)



藤川会長挨拶

来年度の夕陽会創立百周年を記念したロゴマークが完成しました。今後記念グッズにデザインされたり、様々な機会で活用される予定です。

審議に先立ち、夕陽讃歌を合唱した後、藤川会長が挨拶。就任後の一周年を振りかえりながら、来年度の百周年記念事業の成功のために会員の一層の結集を呼び掛けた。

本年度は、議長に大島藤和支部長（檜山）本間玲支部長（札幌）を選出。議事録署名人および役員選考委員を確認した後、議事に入った。

報告事項では、永井幹事長より平成二十八年度の会務・事業について報告があり、続いて花田財政部長から、通常会計と基本金会計の会計報告が行われた。また、武田監査からは、会計監査について報告があった。

母校関係では、藤川会長より、来年度いよいよ一期生として卒業する「地域教育専攻」の学生や、本年四月に新設された「教職大学院」への同窓会としての支

〔夕陽会カラーの臘脂色〕

百周年記念ロゴマークを制作

来年度の夕陽会創立百周年を記念したロゴマークが完成しました。今後記念グッズにデザインされたり、様々な機会で活用される予定です。

平成二十九年度の夕陽会総会は六月十七日（土）ホテル函館ロイヤルで開催された。

審議に先立ち、夕陽讃歌を合唱した後、藤川会長が挨拶。就任後の一周年を振りかえりながら、来年度の百周年記念事業の成功のために会員の一層の結集を呼び掛けた。

本年度は、議長に大島藤和支部長（檜山）本間玲支部長（札幌）を選出。議事録署名人および役員選考委員を確認した後、議事に入った。

①組織強化と運営の効率化

- * 平成三十年度の百周年記念事業に向けた実行委員会の機能的な運営と多くの同窓生が集うための広報活動や組織拡充の取組
- * 企業・公務員会員の入会促進に向けた組織改編の取組
- (3) 財政の効率的な運用と業務見直し・効率化
- * 夕陽会百周年に向けた予算の効率的な執行

④研究・研修、文化事業の奨励

総会・大懇親会

企業・公務員支部
立ち上げへ

平成29年度 夕陽会総会

援についてお話をあつた。また、昨年度の教員採用試験において函館校学生が、極めて高い登録率だったことにふれて、そのために尽力された夕陽会関係者へ謝辞を述べた。一方、企業・公務員希望者の支援については、大学と連携しながら、今後さらに力を入れたいと述べた。

協議事項では、平成二十九年度の運営方針ならびに推進事項・事業計画と百周年記念事業および予算案等も提案された。

なお、報告事項と協議事項はいずれも満場の拍手をもって承認された。また、本年度の重点事項と新役員は次の通りである。

平成二十九年度 主な役員

- 会長 藤川 隆（昭和四八年卒）
- 副会長 繪面 和子（昭和三九年卒）
- 副会長 絹野 重治（昭和四〇年卒）
- 副会長 天野 哲征（昭和四一年卒）
- 副会長 青柳 史匡（昭和四二年卒）
- 副会長 伊藤 啓嗣（昭和四四年卒）
- 副会長 島津 彰（昭和四八年卒）
- 副会長 毛利 繁和（昭和五五年卒）
- 副会長 山田 幸俊（昭和五六年卒）
- 副会長 竹嶋 充（昭和五六年卒）
- 副会長 小助川 浩（昭和五九年卒）
- 副会長 渡邊 祐司（昭和五八年卒）
- 監査 近藤 健（昭和四一年卒）
- 監査 武田 隆雄（昭和四六年卒）
- 幹事長 永井 貴之（昭和六三年卒）
- 幹事長 齋藤 緣（昭和六〇年卒）
- 副幹事長 太田千佳子（平成 四年卒）
- 副幹事長 白川 卓（平成 五年卒）

列品の整備

- * 夕陽記念館内外の環境整備、陳列品の整備
- ⑤母校への支援と地域への貢献
- * 母校の就職対策関係事業及び教採対策関係事業への支援
- ⑥夕陽記念館（北方教育資料館）の整備・活用

平成29年度 夕陽会総会

平成29年6月17日(土)



夕陽会「白寿のお祝い」 大懇親会

夕陽会創立九十九年の白寿を祝う大懇親会は、今年度はホテル函館ロイヤルで開かれました。会場には四百人近くの同窓が集い、繪面和子副会长の先導でご来賓が入場。本年度新たに就任した太田千佳子副幹事長の進行で、竹嶋充新副会长が開会を宣言し、大懇親会が開宴しました。

恒例の夕陽讃歌の斉唱では、函館市立駒場小学校の勝海文孝先生の指揮の下、会場全員で声高らかに歌い上げました。挨拶に立った藤川会長は来賓紹介の後、「百周年記念事業を契機に同窓会と母校をさらに元気にしよう」と



現役学生テーブルのメンバー

新会員紹介では本年度市内の小中学校に採用された五名の新会員と二

と連携の強化を」と訴えました。

館校キャンパス長後藤泰宏様は、「様々な場面で、大学と同窓会の絆

力されている会員の皆様に心から感謝を申し上げます。今後も変わらぬご支援を」と挨拶。函

「道南の子どもたちのために尽力してきました。北海道教育庁渡島教育局長の河原範毅氏が、

した。

ご来賓挨拶では、北海道教育

名の民間会員が自己紹介。会場から大きな拍手を受けました。また、本年度は函館校の三年、四年の現役学生十一名が大懇親会に招待され、壇上で一人ずつ挨拶を行いました。

未来の同窓会を担う若い力に今後大いに期待したいと思います。

続いて奥田敏樹渡島管内教育委員会教育長会会長の祝杯のご発声で祝宴が幕を開けました。今年も、会場内は各卒業年次ごとの席で、同期の皆さんは、お互い青春時代に戻ったように時間を忘れて語り合っていました。

宴も佳境に入り、恒例のエール。

今年は駒場小学校の新コンビ、古谷賢一先生と阿部聖先生が若いエネルギーと感性で会場を盛り上げました。

そして、いよいよ寮歌の合唱です。本年度も小林周次先生（昭和三十三年卒）の音頭で、諸先輩方が法被を羽織つて壇上に集結。会場と一体となつて寮歌の大合唱を響かせました。

おひらきの乾杯は、辻俊行函館市教育委員会教育長が行い、毛利繁和副会长が閉会を宣言。参加者は互いに来年度、百周年記念の祝賀会で再会することを確認しあっていました。

来年度はいよいよ夕陽会創立百周年を記念する大祝賀会が開催されま

月二十三日、ホテル函館ロ



エール



寮歌大合唱

す。平成三十一年六月二十三日、ホテル函館ロイヤルで、皆さんと一緒にしたいと思いま

す。それ

ぞれがお

友達をお

一人連れ

て、是非

ご参加く

ださい。

平成二十九年度 夕陽会運営方針並びに推進事項

『創造し行動する夕陽会』をモットーに、会員一人一人に活力と潤いをもたらす運営の充実と活動の活性化を図り、次の各事項の深化拡充に努める。

《推進事項》

- 組織強化と運営の効率化**
会員相互の連携を重視し、各界会員の組織化と会運営の効率化を図る。
*(1) 平成三十年度の100周年記念事業に向けた実行委員会の機能的な運営と多くの同窓生が集うための広報活動や組織拡充の取組。(重点事項)
- 活活性化と本部との連携。**
企業・公務員会員の入会促進に向けた組織改編の取組。(重点事項)
- 女性会員及び若手会員の運営への積極的な参画。**
夕陽会報222、223、224号の発行。
- 人材の育成**
人材の発掘と会員の資質・地位の向上を図る。会員である道・市町村議会議員、首長部局職員、教育行政・管理職等との連携。
- 関係機関・団体に所属する会員との連携。**
指導主事及び教頭等の学校管理職候補者の発掘と育成。民間企業、地方公共団体に勤める若手会員の中核となる人材の育成。
- 財政の効率的な運用と業務の見直し・効率化**
「つなぎ」、「集う」視点から、諸事業の再構築と財政の効率的な運用に努める。
- 夕陽会100周年に向けた予算の**

研究・研修、文化事業の奨励
会員による個人及び協働の研究等を奨励し、明日の夕陽を担う会員等の研究・研修意欲の高揚を図る。
(1) 研究・研修助成並びに研究内容の紹介。
(2) 各支部の研究活動等の支援。
(3) *(重点事項)
「若手幹」の活用による夕陽会の明日を担う若手の育成。

5 母校への支援と地域への貢献
(1) 科の支援を行う。
(2) *(重点事項)
母校の就職対策関係事業及び教採対策関係事業への支援。

6 の整備・活用
(1) 夕陽記念館への、各種記念資料等の収集と適切な保存、展示、活動への支援。

夕陽記念館(北方教育資料館)

- 1 支部組織の編成と組織強化対策
- 2 会員の動態調査(支部別、校種別会員名簿)
- 3 支部役員名簿等の作成、会員名簿の作成にかかる資料の収集
- 4 地域住民への開放などの検討。

事務局業務分担	
庶務部	齊藤 縁(附属幼稚園長) 太田千佳子(附属特支副校長)
財政部	1 諸会議(含懇親会)の諸準備 及び進行、記録 2 文書の收受、発送及び保管 3 会員の慶弔事務 4 その他、庶務に関すること
文化部	1 会員の文化活動に対する支援 2 文化事業(音楽会・美術展・書道展等)の企画、実施 3 その他、文化に関すること
研修部	1 会員の地位向上対策 2 会員の個人及び共同研究への活動に対する支援 3 支部・ブロックにおける研修助成 4 その他、研修に関すること

情宣部
樺野 人範(石崎小長)
○ 夕陽会ホームページの作成とその管理
3 2 1 「夕陽会報」の発行 事務局報の発行 その他、情宣に関するこ
佐々木正幸(北美原小長) Web委員長
4 3 2 1 その他、組織全般に関するこ
4 3 2 1 その他、厚生に関するこ

平成二十九年度 夕陽会本部役員名簿

参与
函館市深堀町35
函館市日吉町1
函館市橋田22
札幌市豊平区西岡3
平岡4
昭和39年卒
一(昭和39年卒)
5
5
8
8
1
23
夫(昭和31年卒)

四

平成二十九年度 支部役員名簿

会幹副長 木佐長熊	幹長 長谷川	会幹副副長 佐奥三石清	上 柴若木	会幹副副長 柴上樽	小 坂田浦本崎	会幹副副長 早原三橋廣島新	後 三武東若前	会幹副副長 荒本加木西牧本	会幹副副長 川間藤村田野間
原藤尾倉 萌	谷川 谷	藤野宮本水 川	田林村田泉 市	佳代 俊眞公	光益卓直 知	志	崇明泰	芳雄貴	ま幸
由秀聰一 香子	富富 斗美弘	幸清誠周孝	子隆一司徳	晋夫子哲	平明也樹司章融	史淳雄寛彰	央一子か二央玲		
平平昭平 6 16 62 3	昭昭 57 57	平平平平昭 6 2 4 4 61	昭昭昭昭昭 61 63 60 58 58	平平昭昭昭昭昭 18 12 61 58 58 57 59	昭昭昭昭昭 60 58 57 57 56	昭昭昭昭昭 61 58 59 58 56 57 55			
留萌市 苦前町	浜頓別 旭川市	旭川市 中川町	富良野市	小小樽市 小樽市	小小樽市 小樽市	俱知安町 喜茂別町	寿都町 共和町	千歳市 千歳市	札幌市 札幌市
留萌市 苦前町	頓別 東光	頓別 小頭	神居 中央小頭	末広 北小頭	稻穂 潮見台	望洋台 入船	綠小長 小長	寿都小長 北陽小長	若草小長 末広小長
留萌市 苦前小頭	頓別 小頭	頓別 小頭	小諭	小諭	小諭	俱知安小諭	喜茂別小長	北榮小長 北榮小長	福移小中長 幌北小長
						俱知安小諭	喜茂別小長	厚田中長	あつべきた幼長 澄川小長

会幹副副長 川原中佐岩若花	幹副副長 胆振夕陽会	会幹副副長 川原中佐岩若花	幹副副長 函館	幹副副長 渡永晴木大
広十	小中五大金	大橋成中大新	大小本河中佐々	近寺松宇佐館
原見村藤館狭井	十嶋山嵐石澤	塚本田塚山沼	山口原川村島木	橋田崎井市
千寿真充佳重	勝高	志誠浩洋公	知英真朋克祐	辰公賢雅

暢史也弘弘人豊	彦明信義覚	保司司司敏潔	輝樹一也淳治	仁彦治司	人二宏一	範文明和
平昭昭昭昭昭昭 3 58 59 57 55 56 57	平昭昭昭昭昭 2 61 61 59 60	平昭昭昭昭昭 4 60 58 57 56 59	平平昭昭昭昭昭 7 4 63 62 59 57	昭昭昭昭昭 63 62 60 58	昭昭昭昭昭 58 56 57 57	昭昭昭昭昭 57 62 57 55
本別町	新得町	豊頃町	幕別町	日高町	新ひだか町	日高町
新得町	音更町	豊頃町	新得町	えりも町	新ひだか町	えりも町
本別小頭	新得小頭	豊頃小頭	幕別小頭	えりも町	新ひだか町	えりも町
本別小頭	音更小頭	豊頃小頭	音更小頭	厚賀中頭	三石小長	笛舞小長
	屈足南小長	屈足南小長	屈足南小長	笛舞小長	えりも岬小長	えりも岬小長

連代首	会幹副副長 (岩)	幹長 (青森)	幹長 (青森)	会幹副副長 (青森)	幹副副長 (特別支	幹副副長 (高等	幹副副長 (網走	幹副副長 (根室)
石森都	橋山金熊村田面	松芦瀧高	帰湯工木渡白	越伊首竹	佐江竹	渡藤尻内	敷平佐竹	今吉
田屋圈	田口沢谷上木手	生名南	津輕	橋藤藤内	藤尻内	邊取学校	下野藤村	連合
恒	道道勇政茂	大	隆宏	幸秀	祐	規友啓美	祐	浩
久宏	孝明子夫悟樹	介均	行彰	博樹浩司雄彦	芳紀子哲	健巧琢司	己樹俊英	文禎
昭昭	平昭昭昭昭昭昭 9 57 50 52 51 48	平昭	平昭	平平昭昭昭昭昭 2 元 63 56 51 46	平平昭昭昭昭昭 2 56 61	昭昭昭昭昭 60 62 59 58	昭昭昭昭昭 59 59 59 58	平昭
日野千代田区	滝沢市	盛岡市	花巻市	盛岡市	五戸町	五戸町	函館市	中根室市
日野第一小長	山岸小長	山口5—8—2	切谷内小諭	向小長	上市川小頭	上市川小頭	網走市	白糠町
	鵜飼小諭	東中野字五輪10—23	奥州市教育委員会教育長	金木小頭	金田小諭	八幡林字熊谷41—2	北海道帶広養護長	海星小中長
				県立弘前第二養護諭	県立弘前第二養護諭	北海道稚内養護長	北海道稚内養護長	和琴小長
				県立むつ陸奥養護諭	県立むつ陸奥養護諭	北海道平取養護長	北海道平取養護長	白糠小諭
				県立森田養護諭	県立森田養護諭	市立函館高頭	市立函館高頭	青陵中長

受賞（章）おめでとうございます

*人権擁護功労者

法務大臣表彰

*瑞宝双光章（高齢者叙勲4／1）
吉田 清 氏（昭11年卒）

江別市文京台南町一

佐藤 紀子 氏（昭38年卒）
函館市日吉町二の三〇の三

*瑞宝双光章（高齢者叙勲12／1）
伊賀 喜雄 氏（昭23年卒）

帶広市西六南二一の一〇

*瑞宝双光章（高齢者叙勲12／1）
黒沢 一雄 氏（昭24年卒）

七飯町大川九の二の四

*瑞宝双光章（高齢者叙勲5／1）
半野 昭義 氏（昭25年卒）

北斗市追分二の一二の四八

*瑞宝双光章（高齢者叙勲5／1）
佐藤 龍 氏（昭29年卒）

伊達市舟岡町三四三の二五

*瑞宝双光章（高齢者叙勲5／1）
中川 明美 氏（昭42年卒）

新ひだか町静内神森二九の四

*瑞宝双光章（高齢者叙勲1／1）
野木山正雄 氏（昭21年卒）

札幌市豊平区
西一五の二の二五の二〇八

平岸四の一二の一の七

*瑞宝双光章（高齢者叙勲4／1）
佐藤 哲也 氏（昭23年卒）

札幌市南区澄川
六の三の三の二五の五〇一



63年前の「函館学大新聞」の紹介

百周年記念誌編纂委員会

夕陽会創立百周年記念誌編纂委員会は様々な資料を収集しておりますが、この度昭和三十二年卒業の磯部正博氏（本部役員・参与）

より、函館学大新聞の寄贈がありましたので紹介します。学大新聞は五分校中で一番早く発刊された新聞で、夕陽記念館には第三号の

コピーのみが保存されています。第二号、第三号、第六号、第七号、第九号の寄贈は貴重な資料となります。

第二号（昭和二十九年七月九日発行・編集人・原子修）には、東京で開催された第七回全学連大会の概要が一面のトップ記事で、同じ紙面には函館市内の三大学（函商科短大、北大水産学部、函学大）の連携組織の「函館学生自治会連合」を結成した記事があり、当時の学生の政治意識の高さが読み取れます。第三号（昭和二十九年十月十二日発行・編集人・原子修）の一面は、同年九月二十六日の台風十五号による洞爺丸遭難に関する記事です。不幸にも六名の同窓生が亡くなるなど日本の海難史上最大の出来事であり、論説も「六名の靈に捧ぐ」と悲劇を伝えてい

ます。

第六号（昭和三十年十月十日発行・編集人・長谷部健夫）の一面



は不調の大学祭の改革記事で、音楽会や演劇、駅伝などの取り組みを紹介しています。二面の学芸欄では「当世学生氣質」「大千軒ユーラブ登攀記」などの記事も見られます。

第七号（昭和三十年十二月二十日発行・編集人・高階玲治）の一面は自治会執行部成立（委員長・野村拓）とあり、二面は教授陣の投稿（「キエルケゴー尔に想う」）もあり、全学的な視野の紙面内容です。第九号（昭和三十一年十一月二十六日発行・編集人中谷賢一郎）の一面は、第一回教育ゼミナールの開催についての記事で、「新しい教師像を目指して」の基に、「情操教育をいかになすべきか」「教育実習をいかすために」「児童文化について」「生活綴方のねらい」などの主題の解説や分校主事の挨拶など、全学的に熱心に取り組んだ様子を伝えています。

以上、現物は大学付属函館図書館、コレクターは夕陽記念館に保存しています。

平成29年度 夕陽会事業計画

月	事業等	諸会議	事務局	ブロック・支部関係
H29 5月	・キャンパス長との懇談	・監査(19) ・第2回本部役員会(26)	・総会等の準備(庶) ・名簿作成準備(組)	
6月		・第3回本部役員会(8) ・顧問・参与会(8) ・全国支部長会議、総会・懇親会(17)	・支部役員名簿発行(組) ・管理職・行政職等名簿発行(組)	
7月	・教採2次対策講座 ・夕陽教育フォーラム	・第1回役員会	・会報第222号発行(情)	
8月			・記念館資料整備(厚)	
9月		・100周年実行委員会		
10月			・会費等納入促進(組・財)	・道央ブロック会議
11月	・学長との懇談		・記念館整備(厚)	・道東ブロック会議 ・道北ブロック会議
12月	・キャンパス長との懇談		・会報第223号発行(情)	
H30 1月	・道教育長と5校同窓会長との懇談	・100周年実行委員会		
2月			・会費等納入促進(組・財)	・日胆ブロック会議
3月	・函館校卒業式		・会報第224号発行(情) ・入会手続き(庶・組)	
4月	・合同入学式(札幌)			
5月		・監査 ・第2回役員会	・総会等の準備(庶) ・支部役員名簿発行(組)	
6月		・第3回役員会 ・顧問・参与会 ・全国支部長会議、総会 ・北海道教育大学夕陽会 ・100周年記念式典・祝賀会(23) ・記念講演会(24)	・行政管理職名簿発行(組) ・会員名簿発行(組)	
日常業務	・大学・学生支援	・事務局会議(毎月) ・事務局各部会	・慶弔関係(庶) ・前納会員手続(財) ・Webページの更新(情) ・研究助成	・支部総会・懇親会 ・支部研修会等
備考				



作品名 「千社札」

(伝統版画の手法による)

作 者 酒井 義男 氏

(昭和三十二年卒)

特 色
函館校開校時の理念と教師を志す者への叱咤激励の思いをこめて構成した。



中から生まれ、今に伝えられました。
浮世絵の一分野です。

当初は、板や銅板使用の素朴なものでした。

たとえば多色刷りの手の込んだ作品の製作が工夫され、一方、好事家などが交換会などで競い合うなど製作に拍車がかかり、よい作を求めて私財を傾ける者が出現する程盛んになりました。

◎製作にあたつて職人は、三分業で施工。用具は、刷る・彫る・絵や文字をかくなどがあるが、通常使用の版画用品です。

程度の差はあるが、通常使用の版画用品です。
・筆、水刷毛、刷り込み刷毛
・彫刻刀（切り出し、丸刀、平刀）
・定規、雑布
・ばれん（本ばれんは高価で入手が困難。代用ばれん多種有り、手のひらや蓋などでも摺れる）
・カッター、マット

なお、作品によせたご本人の解説書きがありますので、ご紹介します。

展示作品に寄せて

作品は千社札です。江戸中期以降、庶民の信仰や又、様々の文化活動の

- ・摺り紙（手漉き、ドーサを引く。紙の保護、にじみを防ぐため）
- ・和墨、硯、和糊
- ・水彩絵の具（岩彩）

青野 昌勝 氏 絵画
「砂の岬」(夕陽記念館収藏)

学内展示へ

夕陽記念館に収蔵されている青野

昌勝氏（昭和三十七年卒）の絵画

「砂の岬」が、この度、より多くの

人に鑑賞してほしいという大学側の

配慮で、学内に展示されることにな

りました。夕陽記念館の収蔵品が有効活用されるのは

同窓会としても大変喜ばしいことだと思います。

昌勝氏（昭和三十七年卒）の絵画「砂の岬」が、この度、より多くの人に鑑賞してほしいという大学側の配慮で、学内に展示されることになりました。夕陽記念館の収蔵品が有効活用されるのは同窓会としても大変喜ばしいことだと思います。

昌勝氏（昭和三十七年卒）の絵画

砂の岬
制作年 昭和三十二年
寄贈者 同上
材質 キャンバス
寸法 F50(116×91cm)



三十年の努力を条件に手ほどきをいただいた東京の錦絵摺師、山田孝三郎先生に感謝申し上げます。

平成二十九年五月吉日

酒井 義雄

なお、作品によせたご本人の解説書きがありますので、ご紹

いてます。

◎材料

・版材各種、主としてベニヤ、桂、朴、科（しな）（本来は厚く木目の良い桜材や厚く反りを防げるもの）

前納会費納入会員名簿追加分

第222号

夕陽会員訃報

山本 祐暉 氏 昭31	29・1・28	深栖 久佳 氏 昭39Ⅱ	木村 孝 北斗	大徳尚人 北斗
函館市富岡町2の58の5	邦子氏	函館市港町3の9の16	西田 隆雄 札幌	昭54
小馬谷昭吾 氏 昭24	28・10・24	竹野 栄 氏 昭18Ⅱ	山崎 優 岩見沢	昭55
札幌市南区澄川3の4の7の12	静子氏	東京都八王子市元本郷町2の1の12の219	泰子氏	(敬称略 平成二十九年六月十六日現在)
谷内 嶽 氏 昭28	29・2・22	加藤 博信 氏 昭39		
砂川市吉野2南3の3の12	石井 昭英 氏 昭23	函館市时任町21の4		
磯部 誠一 氏 昭28	29・3・6	高田 利夫 氏 昭14Ⅰ		
須藤 信作 氏 昭51	29・3・10	函館市鍛治1の34の20		
北斗市中野通2の22の18	千鶴子氏	帯広市西10南26の38		
齋藤 勉 氏 昭40	29・3・11	伊賀 喜雄 氏 昭23		
函館市亀田本町27の27	洋子氏	函館市錬治1の34の20		
久田 惣衛 氏 昭24	29・3・16	高木 繁雄 氏 昭20		
北斗市谷好4の5の17	康雄氏	帯広市依田町19の2		
零 敏之 氏 昭23	29・3・23	福嶋 功 氏 昭45		
札幌市手稲区稲穂1の6の22の1				

前納会費制度ご利用のお勧め

夕陽会本部通常会費の納入には、前納会費制度があります。ご退職された方は是非、この制度をご利用くださるようお勧めいたします。

前納会費納入会員は、会員名簿に納入者の○印を付して終身会員として、次のような特典が受けられます。

①記念品（民蕃殖の白扇）の贈呈

その他不定期発行の記念品等の贈呈

②夕陽会報（年三回発行）と会員名簿（三年に一度の発行）の本人への贈呈

③前納会員への加入切り替えを会報に通知掲載、その他慶弔規定の適用

前納会費の額は、卒業年次により次の四段階になっております。

①大正年代の卒業生

②昭和年代の卒業生のうち昭和五十年までの退職者

五千円

③同じく昭和五十一年以降の退職者

一万円

④平成元年以降の退職者

二万円

三万円

⑤同じく昭和五十一年以降の退職者

一万円

◆ご希望の方は、本部（附属小学校内財政部担当）へご一報ください。振替用紙を送付いたしますので、簡単に手続きが済みます。

なお、函館市支部と渡島支部でも支部終身会員制度をとり、その推進・拡充を図っております。両支部とも終身会費は一万円であり、それぞれ特典があります。

編集後記

◆会報第二二二号をお届けいたしました。今回も、皆様から多くの玉稿や貴重なお写真等をお寄せいただきました。この場を借りて心よりお礼申しあげます。

◆今号の巻頭写真は函館新・ランドマーク二景です。函館駅前キラリス函館と五稜郭シエスタ函館は今後の函館の新しいシンボルとなることでし上げます。

◆総会でも正式に百周年記念事業について承認を受けました。いよいよこれから本格的な記念事業準備が始まります。互いに力を合わせ意義深い事業にしたいものです。

◆今年度より情宣部の所属が変更になりました。情宣部は函館市立石崎小学校内に設置されています。お問い合わせは石崎小学校までお願いいたします。

◆今年度より情宣部の所属が変更になりました。情宣部は函館市立石崎小学校内に設置されています。お問い合わせは石崎小学校までお願いいたします。

（情宣部長 横野 人範 記 昭60卒）

本部事務局へのご連絡などは、次の所へお願いいたします。
041-0806 函館市美原3丁目48番6号
北海道教育大学附属函館小学校内

夕陽会本部事務局

電話番号(0138)46-2235

FAX番号(0138)47-7376